

GREEN PROP

SUSTAINABLE REPORT

2015

目次 Index

編集方針/会社概要	P02
沿革	P03
トップメッセージ	P04
Green propのビジョン	P06
CSR基本方針	P08
Key1:安全・安心	P10
Key2:コミュニケーション	P11
Key3:『循環型』実現	P12
Key4:環境配慮調達	P13
Key5:ダイバーシティ	P14
Key6:ESD (持続可能な開発のための教育)	P15
KPI	P16
マテリアルバランス	P18
Green propグループ事業概要	P19

● 編集方針

[報告対象組織] 株式会社 Green prop

[報告対象期間] 2014年7月～2015年6月 (※一部対象期間外を含む) [発行時期] 2015年12月

[参考ガイドライン] 環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

■お問合せ先

株式会社Green prop 担当:丸山

〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1272-14

フリーダイヤル:0120-52-0589 TEL:092-922-1716 FAX:092-922-1961 E-Mail:info@greenprop.jp

会社概要 Company Profile

[商号] 株式会社 Green prop

[代表者] 川添 克子

[設立] 1985年

[資本金] 2,000万円

[従業員数] 33名

[関連会社] 株式会社ATGREEN

Sustaina green株式会社

[所在地]

■本社
福岡県筑紫野市大字永岡1272-14

■福岡支店

福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-16 3F

■東京営業所

東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル5F

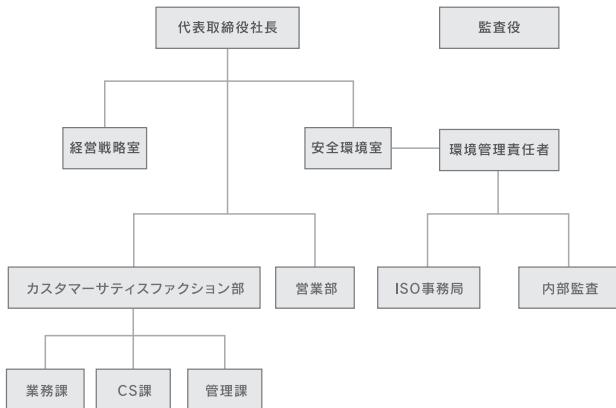
■大牟田出張所

福岡県大牟田市健老町472 大牟田エコタウン地内

■広島出張所

広島県大竹市東栄3-5-4

マネジメント体制



○ 沿革 History

● 1985年	7月	株式会社 筑紫環境保全センター 資本金1,000万円にて設立
● 1986年	9月	福岡県知事より障がい者雇用に対する功績により表彰状を授与
● 1990年	12月	小郡養護学校より職場実習の尽力に対し感謝状を受領
● 1991年	9月	永年の障がい者雇用を評価され労働大臣賞を受賞
● 1996年	10月	稻築町より廃棄物再生処理への尽力し、貢献した功績により感謝状を受領
● 2000年	12月	筑紫野市永岡に産業廃棄物処分業許可取得 (溶解・破碎/許可番号04020008045号)
● 2002年	6月	産業廃棄物処理施設増設(圧縮機導入)、 産業廃棄物処分業追加許可取得(破碎・圧縮)
● 2003年	3月	ISO14001(本社工場・収集運搬業)認証取得
● 2006年	10月	優良性評価制度基準適合第1号(福岡県中間処理)
● 2008年	7月	エコスタッフ・ジャパン加盟
	1月	貨物自動車運送事業 安全性評価事業 Gマーク取得
● 2009年	8月	グループ会社 株式会社ATGREEN 設立
● 2010年	10月	CROSS FM グリーンキャスティングサプライヤーに(2013年6月まで)
	11月	「福岡県男女共同参画計画“女性の先駆的活動部門”」表彰受賞
● 2011年	1月	JALスカイワード「つながるエコ 持続型社会の構築に向けて」掲載開始
● 2012年	2月	福岡県よりゼロミッショントラスト事業者として表彰
● 2012年	10月	3R推進全国大会において「環境大臣表彰」を受ける
● 2012年	3月	グループ会社 Sustaina green株式会社 設立
● 2013年	7月	株式会社Green propに社名変更、代表者変更、福岡支店開設
	11月	東京営業所開設、太陽光発電事業開始
● 2014年	2月	ホームページ全面リニューアル 新CSR検定公式セミナー開催
● 2015年	6月	Green prop コーポレートムービー作成、公開

● Top Message

For Sustainable Tomorrows

～持続可能な未来のために～

持続可能な未来環境のプロデュース企業を目指して



株式会社Green prop 代表取締役

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Mizuki" or a similar name.

● 創業30年を迎えて

2015年7月をもって満30周年を迎えました。福岡県筑紫野エリアの産業廃棄物処理からスタートした当社ですが、外部環境の変化と共に事業展開を推進。今では、廃棄物の最適化事業を中心にCSR経営サポート事業の2本柱となりました。また、グループ会社として、環境シンクタンクとしてお客様と共に環境事業を創っていく株式会社ATGREEN、環境配慮型社会へ向けて調達から変革をおこすSustaina green 株式会社の2社とともに「Greenpropグループ」として展開しております。

この30年という節目で振り返ると、必ずステークホルダーの皆様の顔が浮かびます。お客様、協力会社様、地域の皆様、そして共に歩み、歴史を刻んできたメンバーなど、多くのステークホルダーの皆様に支えられ、お力添えを頂いたおかげであることを身に染みて感じております。皆様に大変感謝しております。

Green propのCSR

Green propグループの「持続可能なコミュニティの創造」というビジョンを実現するために、企業理念の「私たちは不斷に学び、外部環境の半歩先を見極めながら、新しい価値を創造・提供し社会進歩に貢献する」という扉を開けることがます必要です。その扉を開ける鍵の一つがCSRだと位置づけておられます。

現在は6つの重点項目として、『安全・安心』『おもてなし』『ダイバーシティ』『環境に配慮した調達』『エネルギー』『ESD(持続可能な発展のための教育)』を掲げ、KPI(重要業績評価指標)を定め活動推進を行っております。この重点項目は外部環境と共に変化していきます。そのため、KPIと同様、年に1回の見直しを行いその時に合った活動を推進していきます。

もう一つの鍵は『行動指針』です。事業活動を含めたすべての行動の軸となる指針であり、CSR活動においても行動指針に沿っているかをメンバー各人が自問自答しながら一步一步を歩んでいます。この2つの鍵を日々の活動を通じて製作し、未来への扉を開けていくのです。

持続可能な未来のために

持続可能な状態というのは、その土地の歴史や伝統、文化、自然など、そのコミュニティによって形が異なります。そのコミュニティが抱える課題に対して、地域資産を把握し、あらゆる組織体の皆様と連携しながら持続可能なシステム=新しい価値を創造することで課題を解決し、新しいコミュニティの形を創る。点と点を結び、線を生み出す。

Green propは持続可能な未来を共創するアライアンスパートナーです。この線をいくつも張り巡らせてことで網の目を創り、共に助け合い、共に前を向き、共に未来に向かって歩んでいける環境を共に整えていく。きっと、この繋がりこそが私たちの心豊かな生活空間には必要不可欠なものであり、Green propグループの考える持続可能なコミュニティになくてはならないものです。それぞれの特長を活かした持続可能なコミュニティが、ひとつ、ふたつと増えていくことにより、サステナブルな社会に繋がると信じています。

これからも、『For Sustainable Tomorrows ~持続可能な未来のために~』を合言葉にGreen propグループ一同精進してまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

Green propのビジョン ～目指す社会の姿～

Green propグループは、地域システムのリデザイン・イノベーション・コラボレーションのプロデュースを通じた新たな価値と持続可能なコミュニティの創出により、サステイナブルな社会の実現を目指します。

Redesign

地域サービスの再設計

地域の抱える課題に広い視野を持つて向き合い、地域サービスを再設計することで新たな価値を見出す。



農業

Innovation

技術の革新

地域密着型の体制で本質的な課題解決につなげ、地域資源の有効活用や需要に合わせた効率の良い運用、地域内経済循環を実現する。

Collaboration

分野を越えた共同・連携

地域に属する行政・企業・NPOなど多くの方々と連携・共同し、農業・IT・観光・福祉など分野を越えたコラボレーションにより可能性を広げる。

小規模な単位のサステイナブル(持続可能)な
コミュニティを複数つくることで、
サステイナブル(持続可能)な社会の
実現を目指します。



CSR基本方針

Green propではCSRを「企業の持続的な発展への重要な戦略」の一つの重点項目を定め取り組んでいます。また、「グループ行動指針」と



サステイナブルな 世界への扉 II 企業理念

私たちは不斷に学び、外部環境の半歩先を見極めながら、新しい価値を創造・提供し、社会進歩に貢献する

鍵となる「CSR」と「グループ行動方針」によりサステイナブルな世界への扉が開かれる。



サステイナブルな世界の扉を開けるための鍵

I GP・CSR6つの重点項目

KPIやISO14001でマネジメント実施
P10



安全・安心

安全第一の業務を行うことでお客様に安心を提供していくために

P10



コミュニケーション

皆様とコミュニケーションを図ることで新たな価値を創造し提供するために

P11



『循環型』実現

あらゆる側面から限りある資源のより効率的な運用を行い、地球環境を守るために

P12



環境配慮型調達

日常的に私たちを支えてくれるモノから環境を考え行動するために

P13



ダイバーシティ

お互いを認め合い、多様性を活かせる社会を創造するために

P14



ESD(持続可能な発展のための教育)

皆様と共に持続可能な未来環境を創造するために

P15

つと位置づけ、企業理念の実現に必要不可欠な鍵であると捉えています。この企業理念の扉を開けるために、いうもう一つの鍵を携え、企業理念の扉の先に広がるサステイナブルな社会に向けて邁進していきます。



| GPグループの行動指針

全ての行動の
軸となる指針

- ① 未来から今を見つめる。
- ② お客様を徹底的に知る。
- ③ 走りながら考える。
- ④ 今日も笑顔の花を咲かせる。
- ⑤ 人の役に立つことを喜びとする。
- ⑥ 相手のそのままを受け入れる。
- ⑦ 「儲かりそだから」では動かない。
- ⑧ 会話の終わりに「ありがとう」。
- ⑨ 常に地球環境を意識する。
- ⑩ 「愛」を育み続ける。



安全・安心



**安全第一の業務を行うことで
お客様に安心を提供していくために。**

より安全な環境を創造するために、特に『予防』段階の活動に力を入れて取り組んでおります。

01 KYT(危険予知トレーニング)の実施

KYTとは、「危険(K)を予知(Y)する能力を高めるトレーニング(T)」の略称です。私たちは、労働災害防止を目的に従前より独自で取組みを実施してきたのですが、より安心・安全を意識した運転や作業を行うために、平成26年より中央労働災害防止協会様のご指導のもと、危険予知勉強会を実施しています。

危険を危険であると気付くアンテナを鋭く保ち、安全な作業を常に意識し、行動に移すことで、皆様へ少しでも安心をお伝えできればと思っています。日々の実施事項として、朝礼時に月毎にテーマを変えながら安全唱和と指差し呼称を行う等、安心・安全の提供に向け全社員一丸となって取り組んでいます。



02 5S活動の実施-安全衛生パトロール

第27期より取り組んできた5S活動。今期からは、これまでの整理・整頓の確認に加え、安全衛生パトロールの実施に力を入れています。

安全衛生パトロールでは、事故や災害につながる要因を早期に発見することを目的としています。他部署のメンバーがパトロールを行うことで、見落としがちな危険個所を共有・改善により快適な安全職場の形成を目指しています。今後も定期的な安全パトロールを実施し、会社全体の安全意識レベルを高めてまいります。



コミュニケーション



皆様とコミュニケーションを図ることで 新たな価値を創造し提供するために

皆様にもっと気持ちよく過ごしていただき、また会いたいと思って頂けることからコミュニケーションが始まります。そんな『おもてなし企業』を目指し、様々な取り組みを実施しています。

01 マナー研修の実施

心のこもった接客や接遇は、接する相手に「感動」を与えると私たちは考えます。当社では、収集運搬部門を中心に「おもてなしの心とは何か?」を考えながら、通常の業務に欠かせない基本マナーの研修を実施しています。研修後に振り返りのレポートを作成することで、さらに学びを深め行動に反映しています。



02 ヘルメットネームの掲示

皆様に対応する各人が安心・安全に配慮した作業を責任をもって行い、対応する全員が代表者であるという意識を持つ、そんな業務課の意思表明として、ヘルメットには名前+一言メッセージを掲示しております。一人ひとりの行動や想いを皆様へ少しだけ伝えたい、収集運搬部社員の気持ちから生まれた取り組みです。



03 Green propカフェ

ご来社いただいたお客様とお過ごしできる応接室は大切な空間。ほつと笑顔になつたり、和んでいただける空間になれば、という思いからカフェメニューを設置しています。季節毎のドリンクメニューは、全部署の意見を参考に様々な案から選んでいます。心地の良い空間作りを目指しこれからも様々な提案を続けてまいります。





「循環型」実現

GREEN PRO

あらゆる側面から限りある資源の
より効率的な運用を行い、地球環境を守るために。

事業活動を行う上で、電気や軽油などの燃料・エネルギーは必ず必要です。限りある資源を大切に、より効率的な運用から循環の実現を目指します。

01 本社での電気使用量の削減

29期では本社での使用電力 66,258kWhに対し、30期は 57,417kWhと大幅な電力削減につながりました。

●エアコン更新

本社事務所にて、最も消費電力量の多い空調を、省エネ型に更新しました。更新と同時に、室内の温度や湿度状況を見ながら、適正温度や使用条件等のルールを再度徹底し、使用するようにしています。



●ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省が呼びかけ全国で150以上の団体が参加している、「ライトダウンキャンペーン」に当社も参加しています。期間中の消灯の徹底と、キャンペーンに合わせ2日間、20時から22時の2時間の一斉消灯を行いました。



[出展] ライトダウンキャンペーン [ウェブサイト]<https://funtoshare.env.go.jp/coolearthday/>

空調使用ルールの徹底と、キャンペーン期間外でも消灯に心がけるなど、今後も使用電力の削減にむけ取り組んでまいります。

02 運搬車両の導入

30期は業務部門において、運搬車両である2台のジェットパック車の入替と、新たにトレーラ1台を追加しました。その際、基準に沿って低燃費・低排ガス車にて導入を進めています。車両に関しては環境への配慮と共に、定期的な整備・点検を欠かさず、ドライバーによるエコドライブも併せて、安全な運行に努めています。

KPI	第30期結果	第31期目標
低燃費車導入率	46%	48%
低排ガス車導入率	65%	68%



03 太陽光発電事業

2013年11月にスタートした太陽光発電事業も約2年が経過しました。30期は1,579,940.0kWh(※1)の発電量を記録し、一般家庭の約478世帯分、年間で966.9t-CO₂(※2)の排出削減に寄与しました。本社ではリアルタイムで発電状況が確認できます。社内の環境意識向上も見られています。目に見える社会貢献事業として、より有効的な活用を目指して事業展開してまいります。

嘉麻太陽光年間実績(H26年7月～H27年6月)	
総発電量	CO ₂ 排出削減量
1,579,940.0kWh/年 (一般家庭約478世帯分)	966.9t-CO ₂ /年



※1:電力の排出係数は平成26年3月末迄に於いては温対法の数値0.000525t-CO₂/kwh、平成26年4月より0.000612t-CO₂/kwh(九州電力)より(パネル設置や設備維持管理に伴って排出されるCO₂は含みません)

※2:資源エネルギー庁 平成21年度 民生部門エネルギー消費実態調査数値より当社試算



環境配慮型調達

日常的に私たちを支えてくれるモノから環境を考え行動するために

燃料・エネルギーと同様に、事業活動を行う上で必要な備品はたくさんあります。そのひとつひとつから環境を考え、より日常から環境活動を実施していきます。



01 グリーン購入の推進

29期では文房具・日用品などの事務所備品においてのグリーン購入比率は約50%を達成しました。30期では業務部で使う作業用備品や作業着まで範囲を広げたところ、27.3%という結果になりました。数値は大幅に下がりましたが、まだまだ推進していく、改善できる余地がある事がわかりました。この数値を基準として、31期では業務課使用の分野を中心にグリーン商品の導入を進めていきます。単純なエコ商品への変更ではなく、安全性や機能性・価格など様々な角度から代替商品を検討していきます。

また、社員への推進活動として、5S活動での備品購入削減の取り組みは、27期より継続しています。この活動と併せて、適正な必要在庫と発注点を決定するため、備品使用のルール徹底や在庫管理方法等の見直しを行いました。30期のデータをもとに、在庫管理の徹底と発注頻度の軽減を進めてまいります。

KPI	KPI	第30期 結果	第31期 目標
	グリーン購入法 適合製品比率	27.3%	30%





ダイバーシティ



お互いを認め合い、多様性を活かせる社会を創造するために

多種多様な人財がこの環境分野でも活躍できる場が広がる、ダイバーシティな社会を目指した活動を実施しております。

01 インターンシップ生の受入

2015年4月に北九州市立大学の留学生2名のインターンシップ受入を行いました。「日本の廃棄物処理」をテーマに廃棄物制度の歴史的背景から法体系・現状について、ディスカッションや実際の施設見学を中心としてプログラムで、多方面から廃棄物処理の現状を学べるよう、当社のお客様にも施設見学にご協力頂きました。また、二人の母国の廃棄物環境についても知ることができ、当社も学びの多い時間となりました。日本の廃棄物処理が世界の環境改善の一助となるよう、今後も積極的な受入を行います。



02 九州大学 大学院生と コーポレートムービー制作を協働

当社の目指す未来をコーポレートムービーを九州大学芸術工学部の学生からなる映像制作サークル sola と協働して制作しました。このムービーは、文章ではわかりにくい、表現しにくいものを画像や動画で視覚的に表す「インフォグラフィック」という手法を用い、ホームページやFacebookでは表現できない、「Green propの想い」を込めています。「世界観をしつかり表現し、何度も見たくなる、もっと知りたくなるような映像を目指して」という sola のこだわりが随所に光っています。



03 社員の人財開発推進

自身のキャリア、ポジション、部署を考え、また学びが風土となることを目指した各種研修や資格取得を奨励しております。

①研修への定期参加 & 開催

役職に合わせたスキルを身に着け、より良い組織運営を目指すために外部研修へ参加しています。研修後はその参加者が講師となり学んだ内容を社員へ伝える研修発表会も開催しました。自分の言葉で伝えることで、より理解を深める機会となっています。



②ESJ優良セールス検定 の受験

廃棄物・リサイクル業界が代表する営業担当者の育成を目的に、エコスタッフ・ジャパン(株)(ESJ)が実施している検定試験です。Green propでは営業だけでなく業務部門メンバーの資格取得を推進しており、30期では6名が合格しました。31期からは管理部門メンバーへと幅を広げ、今まで以上にお客様に寄り添ったサービスを提供できるよう目指していきます。





ESD



皆様と共に持続可能な未来環境を創造するために

私たちが目指す未来環境は、様々な分野のみなさまと共に笑顔で過ごせる空間です。皆様と共に持続可能な未来環境を創造するために、積極的な情報発信・共有を行っていきます。

01 各種講演・セミナー実施

30期多くの機会を頂き、当社事業や環境・CSR分野の最新動向などをお話しさせて頂きました。

全国環境整備事業協同組合連合会研修会 全国環境整備事業協同組合連合会

2014年
9月

「進化し続ける企業経営」として外部環境に合わせたGreen propの歴史を、「廃棄物処理業界における環境戦略」として市場動向から新しい廃棄物処理業界の価値をお話ししました。同じ業界の皆様が全国各地からお越し頂き、活発な意見交換で私たちも非常に勉強になりました。



10月

優良産廃処理業者認定取得支援に関するセミナー 熊本県環境生活部環境局廃棄物対策課
経営管理者養成コース第18期 独立行政法人中小企業基盤整備機構

11月

産業廃棄物処理業 経営塾 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

12月

経営管理者養成コース第18期 独立行政法人中小企業基盤整備機構

2015年
1月

新CSR検定3級公式セミナー (株)Green prop、(株)オルタナ

福岡で初の「新CSR検定」開催を記念し、CSR専門誌「オルタナ」編集長である森 摂様と九州をリードする企業のCSR担当者を迎えて、CSR最前線や事業活動と連動したCSR活動をご講演頂きました。当日は約80名と多くの方にご参加頂き、九州の皆様のCSR分野への高い関心がうかがえました。今後も九州からCSRを盛り上げていくよう、主催セミナーを開催していきます。



2月

株式会社セールスアカデミー 特別講座 (株)セールスアカデミー

6月

一般社団法人宮崎県産業廃棄物協会 第3回通常総会 一般社団法人宮崎県産業廃棄物協会

KPI Key Performance Indicator

持続可能な未来環境を創発する企業体として、CSR活動のKPI(Key Performance Indicators:重要業績評価指標)を策定しています。当社は、KPIの管理・策定を毎年行い、社会情勢に合わせた活動を推進していきます。

重点項目	分類	KPI	取り組み内容
安全・安心	予防措置	安全パトロール実施回数	①月に1回5Sパトロールと共に安全パトロールの実施 ②パトロール後は定例会議で共有し改善実施 ③収集運搬部門:ドライブレコーダーを活用し、ヒヤリハット作成 ④リサイクル部門:ヒヤリハット報告書にてヒヤリハット作成
		ヒヤリハット件数	⑤定例会議にて共有実施
	安全意識の向上	安全講習会開催数	⑥外部講師による安全講習の開催 ⑦ニュースレター発行においてアンケート実施 ⑧サステナブルレポート発行においてアンケート実施
コミュニケーション	ステークホルダーとのコミュニケーション	情報発信媒体におけるアンケート回収率	⑨改善提案を随時募集実施 ⑩月次の会議にて改善計画立案 ⑪改善実行
		コミュニケーションに関する改善件数	⑫照明を中心に省エネ設備へ更新 ⑬施設内の省エネ活動強化 ⑭エネルギー効率の向上
『循環型』実現	年間CO2排出量	エネルギー起源CO ₂ 排出量 売上高原単位削減率	⑮エコドライブ講習への参加 ⑯エコドライブ10のすすめの推進 ⑰EMS成績のグラフ化
	エネルギー効率の向上	EMS成績表	⑱5S活動を活用した小まめな節電の実施 ⑲空調設備の更新と空調省エネ商品「エコネット」の設置(メンテナンス) ⑳事務所照明のLED化
	使用エネルギーの削減	本社における電気使用量	㉑クールビス・ウォームビズの推進 ㉒工具類の備品選定で優先的にCFP製品、オフセット付製品を購入 ㉓オフセット付ノベルティの製作 ㉔会社案内、サステナブルレポートなど印刷段階で発生するCO ₂ をオフセット
	CO2削減貢献活動	CFP製品、カーボン・オフセット付製品の購入	㉕営業車両 低燃費車導入率 収集運搬車両低燃費車導入率(平成27年度燃費基準達成車)
	エネルギー効率の向上	収集運搬車両低燃費車導入率(平成17年基準低排出ガス重量車以降の規制車両)	㉖リサイクル推進 ㉗廃棄物リサイクル率 ㉘5S活動による適切な資源量の使用 ㉙第26期比備品購入金額削減率
	有害物質の排出量抑制	リサイクル推進 廃棄物リサイクル率	㉚5S活動による備品使用ルールを維持・更新 ㉛必要な在庫数の把握と発注管理徹底 ㉜文具類のグリーン購入推進 ㉝作業服・制服にエコマーク製品を導入
	リサイクル推進	廃棄物リサイクル率	㉞適材適所による女性人財の配置 ㉟評価制度により公正な評価を実施 ㉟外部研修参加へのプログラム構築 ㉞研修内容の活用方法提案および社内共有を定期的に実施
	5S活動推進による適切な資源量の使用	第26期比備品購入金額削減率	㉟新規事業の企画・F/S調査実施 ㉟新規事業に必要なパートナーシップ構築 ㉟多様な人財(障がい者、高齢者、グローバル人財、女性、地域人財など)との連携により社会価値創造のためのプロジェクト検討"
環境配慮型調達	グリーン購入法適合製品調達	グリーン購入法適合製品比率 ^{※2}	㉟文具類のグリーン購入推進 ㉟作業服・制服にエコマーク製品を導入
ダイバーシティ	女性の活躍	女性従業員比率	㉟適材適所による女性人財の配置 ㉟評価制度により公正な評価を実施 ㉟外部研修参加へのプログラム構築 ㉟研修内容の活用方法提案および社内共有を定期的に実施
	キャリアアップの推進	人財育成研修年間延べ参加回数	㉟環境教育・見学会・セミナー等への対応 ㉟新規事業の企画・F/S調査実施 ㉟新規事業に必要なパートナーシップ構築 ㉟多様な人財(障がい者、高齢者、グローバル人財、女性、地域人財など)との連携により社会価値創造のためのプロジェクト検討"
ESD	地域社会の発展	環境教育等実施回数	㉟環境教育・見学会・セミナー等への対応 ㉟新規事業の企画・F/S調査実施 ㉟新規事業に必要なパートナーシップ構築 ㉟多様な人財(障がい者、高齢者、グローバル人財、女性、地域人財など)との連携により社会価値創造のためのプロジェクト検討"
持続可能な未来に向けて	持続可能な地域システムの構築	新規事業による新規雇用数	㉟環境教育・見学会・セミナー等への対応 ㉟新規事業の企画・F/S調査実施 ㉟新規事業に必要なパートナーシップ構築 ㉟多様な人財(障がい者、高齢者、グローバル人財、女性、地域人財など)との連携により社会価値創造のためのプロジェクト検討"

*1 太陽光発電を通じたCO₂排出削減量は加味しておりません。 *2 グリーン購入法適合製品比率=グリーン購入法適合製品購入数/備品購入数

【評価指標】

○:目標達成

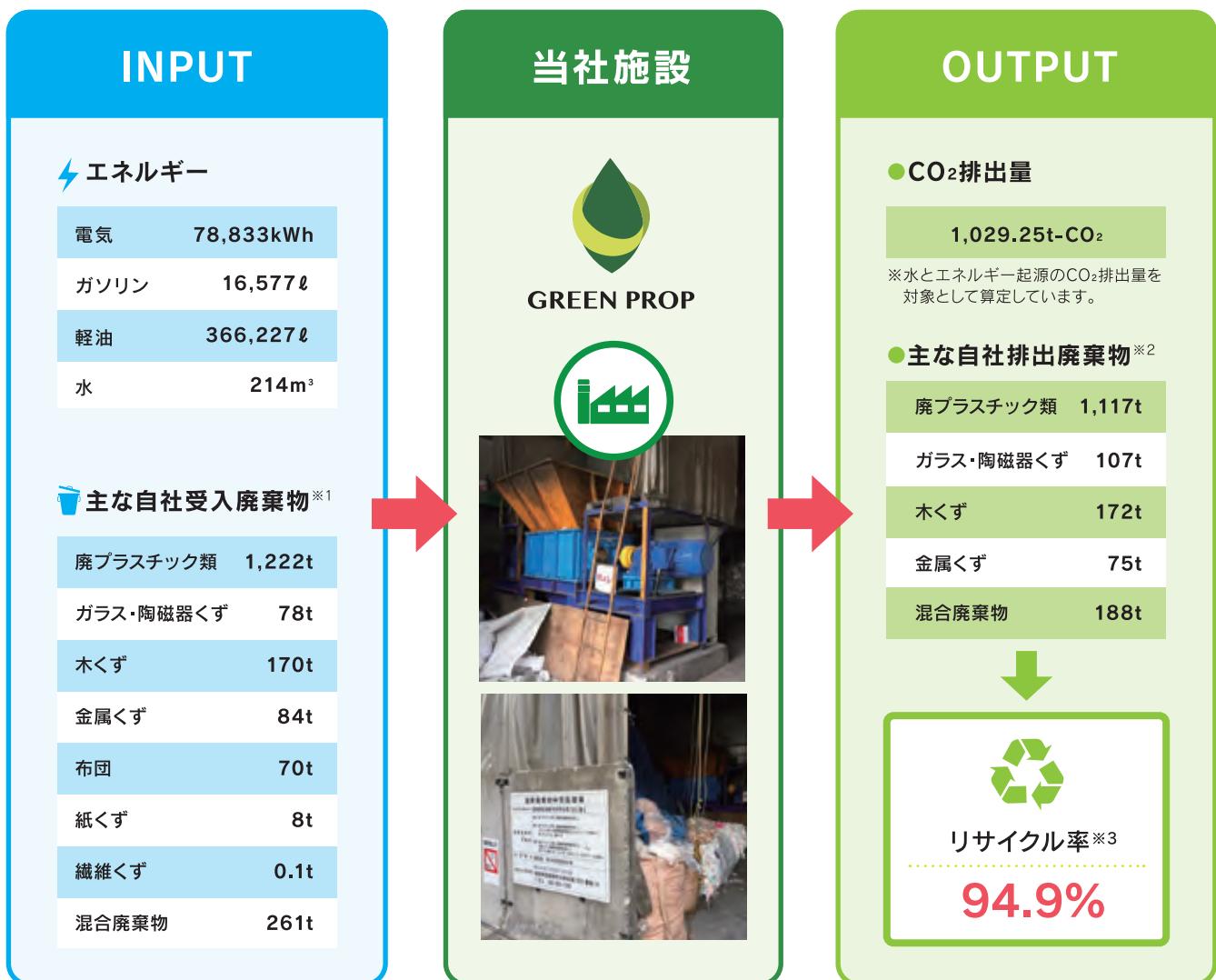
△:取組実施・目標未達

×:取組未実施

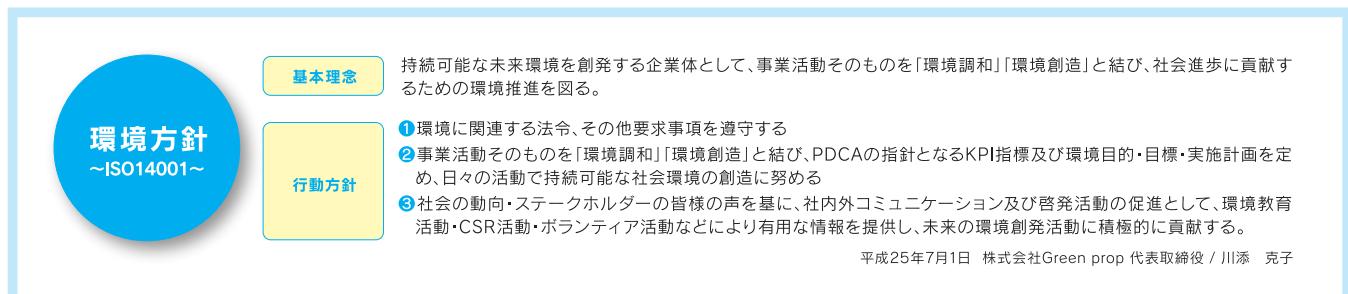
第30期目標	第30期結果	評価	第31期目標	第32期目標	第33期目標
12回	12回	○	12回	12回	12回
-	-	-	月5件以下	月4件以下	月3件以下
1回	1回	○	2回	3回	3回
3%	0.6%	△	1%	2%	3%
-	-	-	3件	5件	6件
第29期比1%削減	0.03% 削減 (1.03t-CO2/百万円) ^{※1}	△	第29期比 1%削減	第29期比 2%削減	第29期比 3%削減
80点以上	73.6点	△	80点以上	85点以上	90点以上
第29期比 壳上高原単位削減率 2%削減	12% 削減	○	第30期比 壳上高原単位削減率 1%削減	第30期比 壳上高原単位削減率 2%削減	第30期比 壳上高原単位削減率 3%削減
有	有	○	継続実施	継続実施	継続実施
30%	33%	○	35%	40%	45%
48%	46%	△	48%	50%	53%
65%	65%	○	68%	70%	73%
95%以上維持	88%	△	90%	95%以上維持	95%以上維持
35%	33.4%	△	35%	38%	40%
50%	27.3%	△	30%	35%	40%
23%	18%	△	20%	23%	25%
20回	25回	○	25回	28回	30回
10回	8回	△	10回	12回	15回
新規事業の企画	企画実施	○	1名	2名	4名

マテリアルバランス

MATELAL VALANCE



※1 廃棄物のデータはマニフェスト数値と自治体から業務委託を受けた廃棄物の数値を合算したものです(以下は四捨五入しています)。※2 有価売却物のデータは除きます。
※3 リサイクル率=サーマルリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量温室効果ガス排出係数は原則として「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて掲載されている情報にて算定しております。



平成25年7月1日 株式会社Green prop 代表取締役 / 川添 克子

GREENPROP グループ事業概要

私たちGreen propグループは持続可能な未来環境を共創するアライアンスパートナーです。
自然と社会の美しい連鎖と循環を生み出すために企業はもちろん、
自治体、NPO法人、福祉法人などあらゆる分野の組織体と提携し
人と人、人と社会、人と自然がもっと豊かに通じ合う未来をパートナーと共に創りあげていきます。

For Sustainable Tomorrows — 持続可能な未来のために。—

私たちが展開する事業は、すべてこの一点に帰着します。
その実現を自らのミッションと定め、胸に刻み前進し続けることを、私たちはここに誓います。



会社概要 Company Profile



[商号] 株式会社ATGREEN
[代表者] 川添 克子
[設立] 2010年
[所在地] 福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7
ACTマツナガビル5FMIKAGE1881
[電話番号] 093-967-1117
[FAX番号] 093-967-1118
[WEB] <http://www.atgreen.jp>
[E-mail] info@atgreen.jp



[商号] Sustaina green株式会社
[代表者] 川添 克子
[設立] 2013年
[所在地] 福岡県福岡市博多区
博多駅東2-10-16-3F
[電話番号] 092-292-0101
[FAX番号] 092-292-0032
[WEB] <http://sustaina-green.com/>
[E-mail] info@sustaina-green.com



グループ事業内容 / GREENPROP

すべてのモノには、還るべき場所がある。

C 廃棄物処理の最適化

事業活動を続ける限り、廃棄物は必ず発生するものです。Green propは、『持続可能な廃棄物処理』を追い続けています。当社での廃棄物収集運搬・処分はもちろんのこと、お客様のご要望から「真の課題」を見つけ、その課題解決とともに実施することをモットーとしています。



廃棄物管理トータルサポート

貴社の廃棄物担当の一員となって、
『持続可能な廃棄物処理』を構築致します。

エリア・品目を問わず、どんな環境の廃棄物処理にも対応

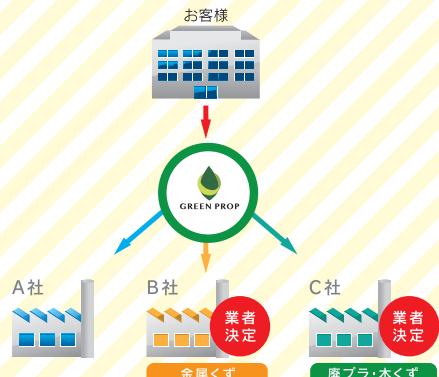
- 事務所から、工場から、工事現場からなど、あらゆる工程から発生する廃棄物の種類やエリアを問わず、最適な処理フローを構築致します。
- フローごとに複数の業者とのやり取りが必要だったところが一本化され、ご担当者様の業務負荷が低減します。

お客様の真の課題を見つけ、持続可能な廃棄物処理体制の構築

- コスト削減やリサイクル率向上、関連する法律情報など、お客様の環境に合わせてその課題を解決し、持続可能な廃棄物処理を実現する道筋を構築します。

廃棄物管理トータルサポート導入後(一例)

当社がお客様の窓口となり、各業者との対応を実施しますお客様と業者とのやり取りは不要となり、負担が軽減します。



廃棄物収集運搬

広範囲にわたる収集運搬

- 産業廃棄物、特別管理産業廃棄物を問わず、九州全域(沖縄除く)・山口・広島エリアの収集運搬に対応。



多様な品目・性状の廃棄物収集運搬に対応

- 排出される廃棄物、保管状況に応じ最も「安全」で効率的な回収を実施。

保有車両	
ジェットパック車	4t平ボディ車
13tウイング車	4tユニック車
10tアームロール車	4t冷蔵冷凍車
7tアームロール車	4tパッカー車
10tヒアブ車	2tパワーゲート車

廃棄物中間処理

リサイクルを最優先した中間処理実施

- セメント工場での助燃材活用をメインとし、全ての品目でリサイクルを優先したフローを構築。



許可品目 計7品目 (福岡県/破碎・圧縮・溶融)

・廃プラスチック類
・ガラスくず等
・木くず
・紙くず
・繊維くず
・ゴムくず
・金属くず

責任でもあり、可能性もある。
CSRが、持続的経営の切り札になる。

“CSR経営”サポート

CSRとは、単なる社会貢献活動ではなく、「自社の企業活動が社会に与える影響に責任を持つ」ということ。あらゆる経営判断を、地球環境や社会環境を考慮しながら行う必要があり、企業経営の根幹となるものです。Green propの提案する“CSR経営”では、持続可能な組織づくり・活動支援として、CSRの推進・活用、ブランドづくりのお手伝いを致します。



社内でのCSR推進体制構築サポート

CSR活動実施のための事前講習会

- ・講習会開催(CSRの考え方や事例、活用方法等)

CSR戦略を考えるグループディスカッションでの共有

- ・利害関係者の特定とニーズの分析
- ・これらの結果を基にした戦略構築サポート



持続的なCSR活動計画の立案とチェック体制の構築

- ・KPI(CSR活動における数値目標)を策定
- ・PDCAサイクルを通じた定期的なチェック体制構築サポート

戦略的CSR活動サポート

的確なKPIの設定アドバイス

- ・現状の活動や課題をヒアリング
- ・優先的に取り組む目標計画の設定

具体的CSR活動提案

- ・経済、社会、環境に関連する具体的なCSR活動の提案

CSR活動実施サポート

- ・5S活動サポート
- ・省エネ設備の導入サポート(LED照明、空調など)
- ・カーボンマネジメントサポート(LCA、CFP、カーボン・オフセット)
- ・環境配慮素材の導入、ノベルティ企画開発など



コミュニケーションツール作成サポート

ターゲットを想定した戦略策定

- ・メッセージを届ける相手(ターゲット)と内容(コンセプト)を策定

想いを形にした媒体の作成

- ・よりターゲットに沿った媒体(報告書、動画)の提案
- ・メッセージ性のある媒体作成、発信のサポート

未来へ繋がる活用方法のご提案

- ・内部の理解を高める勉強会の企画、立案、実施
- ・経営活動に活用する将来的な施策提案

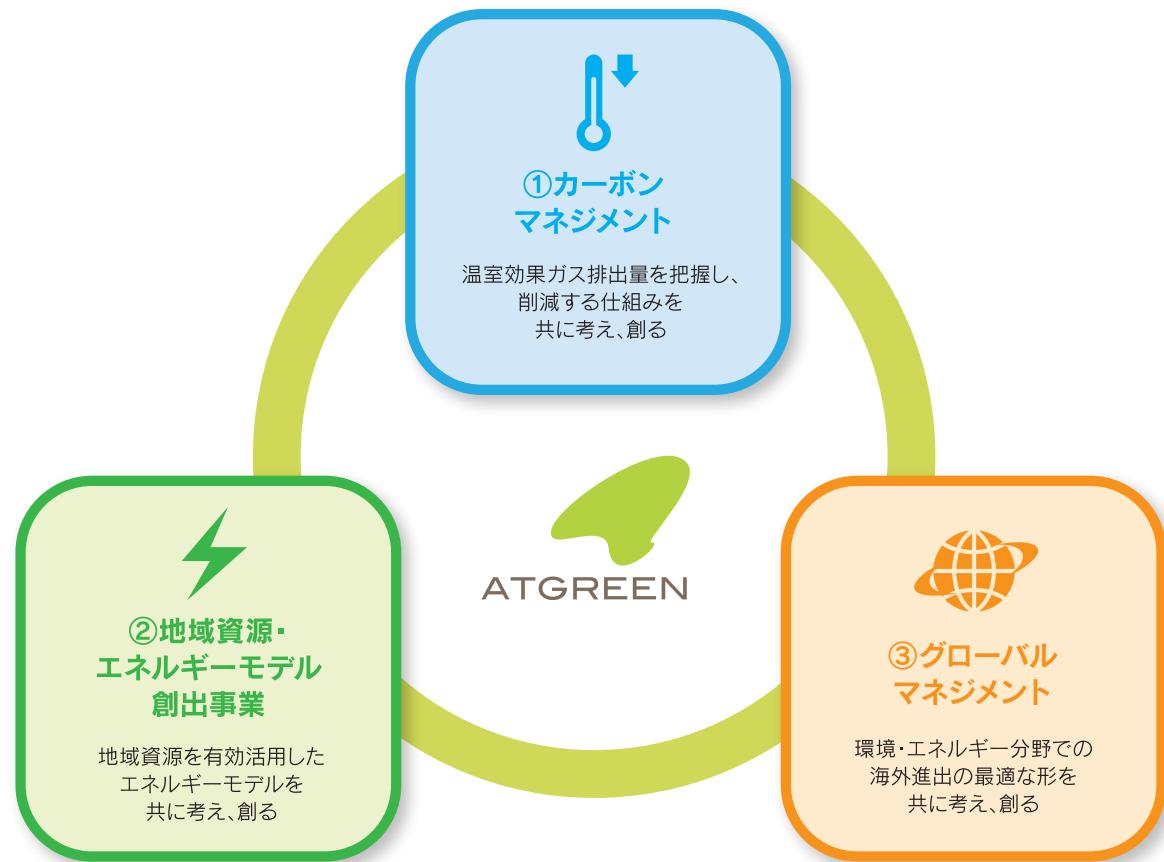




未来の環境を考える。未来の環境を形にする。

① 共創型コンサルティング

環境・エネルギー分野における変化に対応して半歩先行く取組みを「お客様と共に考え、共に創る」事業です。



1

カーボンマネジメント

事業活動における温暖化対策活動サポート

- 温室効果ガス排出量の見える化・削減の取組サポート
- 各種制度への参加サポート
カーボンフットプリント制度、カーボン・オフセット認証制度など

2

地域資源・エネルギー モデル創出事業

地域資源を有効活用するエネルギー地産地消モデルの検討

- 地域資源の活用、地域に最適化されたモデルの構築
- 廃棄物エネルギーの活用モデル構築
- 事業の実現可能性調査実施(F/S) etc.

3

グローバルマネジメント

環境・エネルギー分野での海外展開サポートや調査を実施

- 対象国での基礎情報調査、データ収集、技術実証等のサポート
- 現地パートナーとの連携
- 事業実現可能性調査実施(F/S) etc.



日本のモノづくりを、調達から変えていく。

心 地球 環境負荷低減の調達

製造業には自社製造工程だけでなく、環境配慮型部品・素材の活用や、廃棄・リサイクルが容易な製品づくりといった新たな環境配慮が求められています。時代の要請に応える環境配慮製品の企画や販売を実施しています。



素材提案



企画
デザイン

次世代のサステイナブル素材として注目されている「竹繊維」と、
土中の微生物分解が可能な「生分解性プラスチック」を
利用した素材及び製品群の提供を通じ、
調達から実施できる環境活動をお手伝いいたします。

竹繊維



●機能性食器容器

- ・世界大手のオーガニックストアの食器容器
- ・国内たこ焼チェーンの食器容器

電子レンジ
加熱可

脱臭

遠赤外線
効果

抗菌

●機能性食器容器

- ・世界大手パソコンメーカーのパソコン梱包時の緩衝材

竹の衝撃
吸収性

環境性

竹の
耐圧性

吸湿性

※海外パートナー企業の事例です。

生分解性プラスチック



●機能性食器容器

- ・原料は生分解性プラスチックと竹繊維
- ・有害な化学物質を含まない、子どもにも優しい安心・安全な食器
- ・地中で微生物分解される生分解性を持ち、環境に
有害な物質を出さず、環境に負荷をかけない

安全性

環境性

デザイン
カスタマイズ

贈答品

株式会社 Green prop

福岡県筑紫野市大字永岡 1272-14

TEL : 092-922-1716 FAX : 092-922-1961

<http://greenprop.jp>

